

平成25年度実施

草津市市民まちづくり提案事業

# 協働事業 事例集

2013

**市民 × 行政** の協働事業！！



---

# 協働事業事例集 2013 目次

---

1. **市職員の短期 NPO 派遣研修事業**  
(特活) しがNPOセンター × まちづくり協働部まちづくり協働課
2. **中高生を対象とした男女共同参画啓発事業**  
(特活) おうみ犯罪被害者支援センター × 人権政策部人権センター
3. **草津市ひとり親家庭ホームフレンド事業**  
草津市BBS会 × 子ども家庭部子ども家庭課
4. **旧草津川堤防美化運動および未来に向けた花と緑のまちづくり**  
出屋敷団地あゆみの会 × 都市建設部公園緑地課
5. **くさつ市民アート・フェスタ2013事業**  
草津市 21 世紀文化芸術推進協議会 × 教育委員会生涯学習課
6. **水道水の飲用促進啓発事業**  
W I T H × 上下水道部上下水道総務課



# 市職員の短期 NPO 派遣研修事業

予算額 300 千円



特定非営利活動法人  
しが NPO センター



まちづくり協働部  
まちづくり協働課

## 事業の背景



草津市では、これまで職員を対象として協働の意識醸成を図る研修を行ってきました。しかし、講演会やワークショップなどの座学を中心に実施してきたため、実際に協働のパートナーとなる NPO がどのような活動を行っているか、職員が知る機会を殆ど設けられていませんでした。このことから、現場でまちづくりを行っている NPO の方と活動を共にし、相互理解を深め、協働の一步となることを目的とし、中間支援組織である（特活）しが NPO センターと事業を実施しました。過去、県でこうした研修を実施されたことはありますが、県内の市町としては初の取組みです。

## 事業内容

派遣先の NPO 3 団体、派遣する職員 6 名を選定し事業をスタート。派遣先は、子育て分野の（特活）子どもネットワークセンター天気村、福祉分野の（特活）ディフェンス、多文化共生分野の SHIPS に依頼し、職員の希望に応じ、マッチングを行いました。

派遣研修を実施する前には、集合研修を行い、協働や NPO についての講話のほか、職員と NPO の顔合わせを行い、研修の目的と到達点を確認しました。

派遣後にも集合研修を行い、研修の成果をどのように仕事に活かすか、NPO の皆さんも参加いただきながら意見交換を行いました。



## 役割分担

### \* NPO \*

- 派遣先 NPO の選定
- 集合研修の企画
- NPO との連絡調整
- 受講生のフォロー
- 報告書の作成

### \* 行政 \*

- 研修生の募集、選定
- 受講生のフォロー
- 会議室の提供

### 協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

協働を進めていくには、特に行政側の NPO への理解が必要です。しかし、日頃、市職員は NPO の活動に触れることがあまりありません。この研修は、実際に NPO の現場に市職員が出かけて活動を体験することで、NPO への理解を深めることができました。この成果を活かし、協働推進に積極的に取り組んでいただけることを期待しています。

### ◎担当者からひとこと



(特活)しが NPO センター  
西川 実佐子さん

事業実施にあたり、研修生と NPO スタッフ間、また市担当課と十分に協議しながら進めました。この事業での具体的な進め方そのものが協働でもあり、今後の展開に可能性が感じられました。そして相手側の現場で実体験することが、行政と NPO の協働を進めるにあたって大きな効果となることを、改めて実感することとなりました。

NPO の選定や集合研修のコーディネートなど、しが NPO センターさんの中間支援組織としての強みを活かした事業としていただきました。派遣研修自体は、5 日間という非常に短期なものでしたが、その中でも職員は、NPO が持つ柔軟性や迅速性を肌で感じる事ができたと感じたようです。



まちづくり協働課  
松岡 秀樹

# 中高生を対象とした男女共同参画啓発事業

予算額 500 千円



特定非営利活動法人  
おうみ犯罪被害者支援センター



人権政策部  
人権センター

## 事業の背景



交際関係における暴力をデートDVと言いますが、その社会的背景として、内閣府が平成24年度に実施した「男女間における暴力に関する調査」では、交際関係にある男女の約10人に1人（被害者を女性に限定

した場合、7.3人に1人）が「交際相手から何らかの暴力を受けたことがある（受けている）」と答えています。デートDVの根底には恋愛感情があるため、非常に表面化しにくく、また結婚後のDVに繋がる可能性があることが指摘されています。この事業は、デートDVについて、若年層からの啓発を進めることで、その防止と、将来におけるDVの防止を目的として企画しました。

## 事業内容

事業の軸は、中高生への研修の実施、研修用資料の作成、啓発用資料の作成としています。

研修の前段として、実施校の募集のため、人権センターから校長会、人権担当の先生方へのPR、先生方を対象とした出前講座を実施しました。実施校が決まれば、おうみ犯罪被害者支援センターが、各校の要望や状況を聞きながら、研修内容を構成し、夏には高穂中学校の第2学年（246人）、秋には玉川中学校の第3学年（174人）を対象に、各クラス単位（合計13クラス）で研修を実施しました。学校の方で授業を開放していただいたこともあり、保護者や他校の先生、市の関係課職員の参加や、ケーブルテレビ局、新聞社の取材もありました。

さらに、県立草津高等学校の先生方（約30人）を対象にも実施し、合計14回の研修を実施しています。



## 役割分担

### \* NPO \*

- 実施校との調整
- 研修教材の作成
- 研修会の運営
- 啓発カードの作成

### \* 行政 \*

- 実施校の募集、調整
- 記者提供
- 広報等への掲載
- 啓発カードの配布

### 協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

当初予定していた事業展開が、よい方向で変わっていったのではないかと思います。協働事業として協働を重ねて実施されてきた様子が垣間見られます。また、授業の開放が行われたことでより高い効果が出たと思われ、次年度以降の学校現場での積極的な展開が望まれます。

### ◎担当者からひとこと



(特活) おうみ犯罪被害者支援センター  
松村 裕美さん

「デートDV」という言葉を初めて聞く生徒や、既に付き合っている人がいる生徒など、男女交際経験の差が大きい中学生に、「よりよい関係」を考える授業をさせて戴き感謝しています。DVDを見る真剣な表情の子や、照れくさそうにちょっとふざけながらもしっかりと見ている子らの姿に、この授業の大切さを、私たちの方が教えられました。

事業のうち、研修の部分については、当初市内の中学校で2回ずつ実施するのを目指していましたが、担当の先生方と協議していく中で、一つの学年の全クラスで実施していただけることとなり、「デートDV」に対する問題意識を先生方で共有化していただけたのではないかと感じています。まだまだ認知度が低い「デートDV」ですが、実は非常に身近で大きな問題ですので、今後も啓発を続けていければと考えています。



人権センター  
伊東 雄一

# 草津市ひとり親家庭ホームフレンド事業

予算額 500 千円



## 草津市BBS会



## 子ども家庭部 子ども家庭課

### 事業の背景

ひとり親家庭の子どもたちを取り巻く環境は、家庭関係や学校生活など複雑な状況にあり、こころの葛藤を和らげる援助が必要とされています。

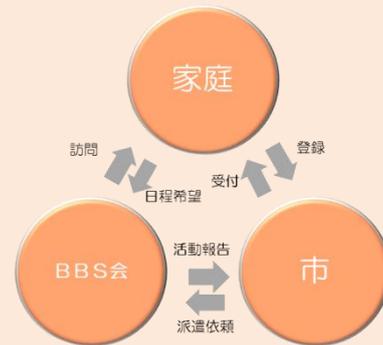
そこで、子どもたちの話し相手、相談相手、遊び相手となるホームフレンド（大学生等）を派遣し、ひとり親家庭の子どもたちが健やかで安定した生活を送ることができるようサポートすることを目的として本事業を始めました。



### 事業内容

ひとり親家庭の子どもたち（小学生から中学生）に対し、主に大学生である草津市BBS会の会員をホームフレンドとして一家庭あたり月2回派遣しました。ホームフレンドは話し相手、遊び相手となったり、簡単な生活面での指導や学習支援を行います。

草津市BBS会はホームフレンドの活動報告を作成し、市は定期的に子どもたちの状況を確認し、両者でひとり親家庭のサポートを行いました。



### 役割分担

#### \* NPO \*

- ホームフレンド選定
- 派遣前の面談
- 訪問
- 報告書の作成

#### \* 行政 \*

- 派遣家庭への説明
- 派遣家庭の登録
- 情報提供、派遣依頼
- 派遣前の面談

#### 協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

うまく、行政とNPOが役割分担をしながら進められています。若者を抱えるNPOとして、十分に存在感を示していただいています。

まだまだ利用家庭が少ないとのことなので、利用を増やしていくための方策を両者で検討いただけることを期待しております。

#### ◎担当者からひとこと



草津市BBS会  
田中 大亮さん

ホームフレンドを担当させていただき今感じていることは、協働事業だからこそ安心して活動ができたということです。子ども家庭課とは、こまめに連絡を取り、報告をしたり相談にのっていただいたりしました。活動をしていると、子どものちょっとした成長を目の当たりにでき、ホームフレンドになって本当によかったと心から思いました。また、ホームフレンドを担当したBBSの仲間からも、別れ際に子どもから「次はいつ来てくれるの？」と尋ねられた時、自分が必要とされていることに大きな喜びを感じたといった声を聞いています。

ホームフレンドの皆さんはとても真面目でそれぞれのお子さんに合わせて接してくださっているようで、保護者の方から派遣前の段階ではあまり乗り気ではなかったお子さんが、いざ派遣が始まってみるととても楽しみにしているといったご感想をいただいています。お子さんとホームフレンドの間で約束を作って、児童の健全な育成に関わるような事業の成果が出ているのではないかと感じています。



子ども家庭課  
阿部 千秋

# 旧草津川堤防美化運動および未来に向けた花と緑のまちづくり

予算額 100 千円



## 出屋敷団地あゆみの会



## 都市建設部 公園緑地課

### 事業の背景

草津市では、第2次草津市緑の基本計画に基づき、平成24年度からガーデニング推進事業として、ボランティア組織「ガーデニングサークル」を立ち上げ、サークル会員のスキルの向上を図るため講座や視察、公共的な空間を利用したモデルガーデンの制作を行い、ガーデンシティー草津を目指しています。

そこで、ガーデニング推進事業をより効果的に進めるため、花とみどりのまちづくりをすすめる先駆的な団体でガーデニング推進事業と連携可能なものを募集しました。



### 事業内容

旧草津川が雑草で生い茂り、不法投棄も多く荒れていることから、出屋敷団地あゆみの会では、ゴミの収集や清掃、除草、その他環境美化に必要な活動を行っています。同じ思いをもった近所の仲間が集まり、活動の中で会員間でのコミュニケーションを図り、日々積極的に活動されています。

公園緑地課では、地域の活動を支援することを通し、さらなる活動の活性化を期待して、出屋敷団地あゆみの会とガーデニングサークルとの交流会を開催しました。積極的な意見交換を行い、これからの花と緑のまちづくりについて考えるよい機会となりました。また、出屋敷団地あゆみの会が実施する講習会の開催にあたり講師を紹介するなど、ガーデニング推進事業と連携を図りました。

今では、旧草津川に季節に合った花を植え、出屋敷団地あゆみの会は自主的にまちづくりを進めています。



### 役割分担

#### \* NPO \*

- 旧草津川の整備
- 旧草津川の維持管理
- 報告書の作成

#### \* 行政 \*

- 制作に対する情報提供、助言
- 活動の紹介、広報
- 講座の案内

#### 協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

環境改善を一步進め、ガーデニングという観点から協働が進められています。単にお金を出すだけでなく、行政側のノウハウ提供などが行われることで、団体側の自主性がうまく引き出されています。

#### ◎担当者からひとこと



出屋敷団地あゆみの会  
中澤 嘉一郎さん

全国どこにもない広大な河川敷を利用したガーデンミュージアム構想を実現するためには、市民一人一人が環境美化に目覚め、未来に向かった花と緑のまちを築いていく心構えを今から養うことが大切と考えております。私達もその一端を担っていければと願い、日々頑張っております。

出屋敷団地あゆみの会では、会員間のつながりが強く、一人一人が楽しんで参加されているということが会員の皆様の表情から伝わってきました。リーダーのもと、通りがかった人々からのあたたかい言葉を励みに自主的に活動されていることから、今後のガーデニング推進事業のあり方について非常に参考となりました。



公園緑地課  
岩崎 悠子

# くさつ市民アート・フェスタ 2013 事業

予算額 250 千円



草津市 21 世紀  
文化芸術推進協議会



教育委員会  
生涯学習課

## 事業の背景



草津のまちに文化・芸術の輪を広げるため、本市では、「生涯学習推進月間」である11月に、草津駅東口側の中心市街地施設を活用して、音楽演奏や舞踊、絵画や写真、書、工芸、生け花など、参加して実体験できる事業を展開しています。市民に文化芸術に触れる機会、発表の場を提供することで、心の豊かさ・安らぎ・生きがいを多くの人と共有できる、生涯学習活動の推進に貢献することを目的として本事業を実施しました。

## 事業内容

草津駅東側商店街の施設や店舗を利用して、フラワーアレンジメントやいけばな、ガラスアートやパッチワーク等の展示会、音楽の演奏会を実施しました。また、各会場において、ワークショップを実施し、市民が身近に文化や芸術に触れる機会を提供することで、次世代を担う若年層の参加が多く見られるなど、各会場において積極的に取り組む姿勢が見られ、市の文化芸術、地域の活性化に寄与することができました。



←アートフェスタの様子↓



平成25年11月16日開催  
参加者数：約850名

## 役割分担

### \* NPO \*

- 事業概要の策定
- 参加者募集(団体)
- 参加団体との連絡調整
- 説明会の実施
- 団体への周知
- 会場設営・管理
- 協議録の作成

### \* 行政 \*

- 参加者募集(市民公募)
- 市関係施設との連絡調整
- 公共施設の貸与・借用・管理
- 事業周知(広報、市HP)
- 協議録の確認

## 協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

実行委員会形式で行われる事業の多くは市が事務局を持っています。本事業も従来はそうした形で行われてきましたが、事務局を市民側に移すことで本来の協働事業としての先駆となったと思います。

## ◎担当者からひとこと



草津21世紀文化芸術推進協議会  
井上 一郎さん

市教育委員会(生涯学習課)の有する各種蓄積情報や、事務的機能ならびに連絡調整など、様々なノウハウを実行委員会立ち上げから事業実施に至るまで、大いに活用させていただきました。お互いに有する特徴を存分に発揮することができ、ワークショップ形式の事業実施も各所で大盛況となり、まさに「協働」事業展開の良き実施例となりました。

草津市21世紀文化芸術推進協議会の所属団体のネットワークやノウハウ、文化芸術での専門的能力を活かし、企画立案から事業実施まで円滑な進行ができました。また、ワークショップを取り入れた事業展開により集客が増加するなど、当該の他の事業のモデルとすることができました。



生涯学習課  
山田 貴彦

# 水道水の飲用促進啓発事業

予算額 300 千円



## WITH



## 上下水道部 上下水道総務課

### 事業の背景



草津市の水道水は、水質基準を満たすため50項目に及ぶ検査項目をクリアした安全な水です。

草津市では、北山田浄水場における緩速ろ過やロクハ浄水場の活性炭処理施設の運用など、安全でおいしい水を送り届けるための努力や工夫を行っています。必ずしも市民の皆さんに知っていただいているとは言い難いのが現状です。そこで、水道水の安全性とおいしさを啓発する取り組みとして、平成23年度から宿場まつりや環境イベントの際に「きき水」大会を実施し、啓発活動の充実を図っています。

### 事業内容

草津の水道水の安全性とおいしさをお伝えするため、飲用促進につながる内容のチラシを作成し、WITHさんのネットワークを活かした幅広い世代の方への啓発活動をしていただき、アンケート回答者の中から抽選で、草津市の水道イメージキャラクター「いってきくん」がプリントされたオリジナル水筒があたるキャンペーンも行いました。

また、水道水のできる仕組みを歌詞にした、ポップで親しみやすい啓発ソングも作成いただきました。

啓発活動の充実と新しい取り組みにより、水道水のおいしさをみなさんにお伝えすることができました。



### 役割分担

#### \* NPO \*

- 啓発ソングの作成
- 啓発チラシ作成、配布
- 賞品の作成、配布

#### \* 行政 \*

- 歌詞の情報提供
- 啓発チラシ配布
- アンケート集計

#### 協働コーディネーター阿部圭宏さんからひとこと

行政は安全な水道水を供給していますが、そのことを市民はあまり知りません。音楽という手法を使っての啓発は、NPOらしい特徴あるもので、ユニークな取り組みになったと思います。事業で作成された資材を今後も積極的に活用することで事業の成果が持続すると考えられます。

#### ◎担当者からひとこと



WITH  
澤 孝子さん

音楽を通したまちづくり活動団体（アートNPO）が提案した協働事業は「音楽の力」での啓発です。市民の皆さんに安全で安心な草津の水道水を飲んでいただきたくて生まれたとっても楽しい、いってき君ソング！「いってきくん♪いってきくん♪」社会科ソングとしても学校で、地域で、ぜひ聞いてください。

WITHさんのネットワークによって、多くの幅広い世代の方に水道水の普及啓発を行っていただきました。また、WITHさんならではの発想によって、啓発ソング「いってきくんの歌」も作成いただきました。今回の協働事業を通じて得たものを今後の啓発に活かし、多くの人に草津市の水道水をおいしく飲んでいただけるよう取り組みます。



上下水道総務課  
仁谷 隼人

発 行

草津市まちづくり協働課

TEL : (077)-561-2337

FAX : (077)-561-2482



**草津市**

Kusatsu City